

上手なスマホの使い方あれこれ(その1)

モバイル社会研究所「小中学生 ICT 利用調査 2019」によれば、中学生でスマートフォン（以下「スマホ」という。）を持っている方は、道内では53%に達しています。スマホは、メリットと同時に多くのデメリットがあります。スマホの功罪を知って、正しくスマホを使いましょう。今号では、一般的に使われるGoogleで便利な検索方法を紹介してみましょ。



★「とは検索」を活用しよう

授業や教科書に出てくる用語の意味や定義を調べるときは、キーワードに「とは」をつけてみましょう。例えば、「小中一貫校とは」と入力すると、「小中一貫校とは〇〇である」という意味やメリットなどが書いてあるホームページが上の方に出てきます。



★キーワードは具体的に。複数で絞り込みを

インターネットは情報の宝庫ですが、余りに量が多すぎて、目的の情報にたどり着くのが大変です。例えば、道内の中学生でスマホを持っている人の割合を検索するとき、「北海道 中学生 スマホ 所有」など思いつく複数の言葉を入れると早く目的の情報を見つけることができます。

★完全一致の検索は「〇〇」で

例えば、ペットを連れて道内旅行するため、ホテルを探したい場合、「ペットと泊まれる」を“ ”（ダブルクォーテーションマーク）で囲むと必ず「ペットと泊まれる」が入った情報がでてきます。

これを完全一致検索と言いますが、道内を入れて「“ペットと泊まれるホテル” 道内」とするとより具体的な情報を得ることができます。

※せっかく買ってもらった高価なスマホを正しく使うため、今後も何回かに分けて使い方や注意事項を紹介していきます。

誹謗中傷は禁物

便利なスマホも使い方を誤ると凶器にもなります。SNSやインターネット上では、相手の顔が見えないため、悪口や中傷を投稿する人もいます。これは言わば犯罪行為です。相手を傷つけるばかりか、今や悪質な投稿者は誰かを特定する技術もあり、結果、自分も傷つくことになりかねません。誹謗中傷は禁物です。

